

もみじの葉
色づき始めて
夏終わる



友部小4年
ふじはら こうた
藤原 光汰

支部だより ひがし

第173号
(令和6年)
発行日 2024年12月19日
発行 笠間市社協東支部
編集 広報委員会
印刷 有限会社 テクノプラン

待ちに待ったミニサロン
2年ぶりにミニサロンを開催。各ブロック以下の日程で実施をしました

行先・キューピー五霞工場
道の駅まくらがの里こが

・五平ブロック(11月5日)
・柿橋ブロック(11月14日)
・宮前鴻巣ブロック(11月20日)

行先・ヤクルト五霞工場
道の駅まくらがの里こが

・南友部ブロック(11月26日)



説明に聞き入る参加者(五平ブロック)



美味しいランチに舌鼓(柿橋ブロック)



工場の試食コーナーで(宮前・鴻巣ブロック)



工場の前で記念撮影(南友部ブロック)

雨で1日遅れとなった「東支部グラウンドゴルフ大会」が、素晴らしい秋晴れの下開催されました。今回は高齢者クラブの他グラウンドゴルフは初めてという「シルバリーハビリグループ」や「ふれあいサロンちやお」グループも加わり、82名が参加し大いに盛り上がりました。また、90歳以上の元気なプレーヤーが7名も参加(男性5名・女性2名)、支部長から「敢闘賞」が贈られ、健康寿命が高くなったことを印象付ける大会となりました。



競技前の準備運動

**秋晴れの下
グラウンドゴルフ大会開催!**




優勝、準優勝、3位に輝いた皆さん

- 結果**
- 男性の部成績(敬称略)
- *優勝 麻生友嗣(きらくの会)
 - *準優勝 埴昇(香友会)
 - *3位 井口誠(きらくの会)
- 女性の部成績
- *優勝 野上洋子(きらくの会)
 - *準優勝 原田一枝(きらくの会)
 - *3位 大越康子(鴻寿会)

長く暑い夏と短い秋が過ぎ、寒い冬の季節となりました。今年も東支部行事等へのご参加ご協力ありがとうございました。

支部だより
会計 穴戸 正夫

バザー前日は雨模様の日で、品物の搬入は雨の切れ間をねらい行いました。しかし当日は気温も上がり10月末とは思えない「暑さ」の中開催されました。

販売開始時間前より、品定めをする大勢のお客様が集まり、「商品もとても良く、値段も手ごろ」と、好評で販売もでき、私たちも大変うれしく思いました。

品物の確保が年々厳しく

ふるかわまつらバザー
10月19日



- 【今後の支部・地域の行事予定として】
- *元旦 香取・高房神社初詣祭
 - *1月11日 五平ワーホイ祭り
 - *1月31日 原店どんと焼き
- 福祉推進員交流
研修



大賑わいのバザー会場

なってきたておりますが、皆様の喜ぶ顔を楽しみに頑張っております。今後ともご協力よろしく願っています。
(女性部長 石崎 千賀子)

敬老会「南友部」

まだまだ暑い日が続く10月5日、昨年から再開した南友部合同敬老会がトモアにて開催され、対象者の1/3にあたる72名が参加しました。山口市長はじめ来賓の方からご祝辞をいただきました。



大勢の方が参加された敬老会

方が5名います。参加者を代表し大津佳一さんから感謝の挨拶がありました。アトラクションは塩田区長の計らいで「茨城県警音楽隊」の演奏や詐欺被害防止の寸劇もあり、楽しい会となりました。(実行委員会)

敬老会「五平」

10月13日64名が参加し敬老会が開催されました。

山口市長の祝辞及び沢山の祝電が披露されました。アトラクションでは、「今何時だい!」の「時そば」を「らく塾亭らく之」さんが熱演、また歌声ひろげでは、「ローサス」さんの演奏で皆さん楽しい歌声を披露することが出来ました。



ローサスのギター演奏

今回の敬老会開催にあたり、早くから準備をしていた実行委員会スタッフの皆様へ感謝をいたします。(区長 谷津 和久)

敬老祝賀会「柿橋」

当初10月27日であったが、選挙の投票日となったことから、11月2日の開催となりました。当日は熱帯低気圧の影響で、雨天の中ではありましたが、多数の方が参加され盛況の中祝典が終了、2部では茨城シニアマスターの、「乙羽晃歌謡ショー」「春風三郎の腹話術と手品」が披露され、会場はさらに盛り上がりしました。あつという間に時間が経ち、最後は恒例のビンゴゲームとなり、豪華な賞品を抱え皆さん帰路につきましました。参加者の皆様にご満足を頂き、役員一同胸をなでおろしました。(実行委員長 栗原 四郎)



春風三郎さんの腹話術に盛り上がる

運動会は地域の「輪」

第38回柿橋区運動会が灰色の空の下始まりました。今年初めての試みでポスターを作成し、老若男女を問わず誰もが参加できる競技も取り入れられました。運動会も佳境に入る頃には、青空が広がり、笑い声も大きくなりました。存続の危機にあった行事ですが、大勢の方が楽しみ、笑い、協力し合い、地域の輪(和)を感じられた日でした。

どの地域もお祭りや行事が減り、次世代へ繋ぐものとして、これからも続くことを祈ります。(実行委員 武藤 千秋)



初めての種目「グラウンドゴルフボッチャ」に挑戦!

野菜収穫体験

「掘れたよ!」と子どもの嬉しい声が畑に響き、秋の収穫体験に参加者の笑顔が輝く楽しいひととき。

10月20日、鯉淵学園(水戸市)で初めて農業収穫体験を開催しました。前日まで雨でしたが、当日は晴天となり、土を掻き分けサツマイモを収穫。持ち切れないくらいの量(鴻巣子ども会 友部 久美子)



一生懸命芋ほりを行う子ども達

に、喜びであふれていました。また、初めて落花生の収穫も体験しました。収穫のあと、園内をトラクターの荷台に乗って遊覧。広大な園内を楽しみました。生まれたばかりの子ヤギの愛らしさに、子ども達はとも興奮気味。短い時間でしたが、実りある子ども会活動になりました。

編集あとがき

「タッチパネルは怖くない」最近あらゆる飲食店でタッチパネルで注文を受ける店舗が増えています。先日ラーメン店でパネルで注文したラーメンを食べたら、注文してないタンメンが届きビックリ。パネルの扱い間違いで何事もなかったが、それ以来タッチパネル恐怖になりました。

これから益々デジタル化が進むでしょうから、脳を柔軟にして生活しなければと考えるところでは。(斎藤 義範)



ソフトボールを通して

柿橋 須藤 康弘

私は柿橋ソフトボールの監督をしています。当クラブは県大会の常連として名を馳せるチームとなりました。メンバーは元々柿橋地区の方や、地域の子供会の父親を中心に構成されていましたが、今は若年層のメンバーが主力を占めるようになっています。このメンバーは私が子供会で指導していた子供たちです。成長し地域のチームで活躍する姿や、自信を持ってプレーする姿を見ると、世代間の繋が

りの大切さを感じます。ソフトボールを通じて、私たちは世代間の交流を育むことができ、子供たちだけでなく地域全体が一体となって活動できる素晴らしい場を提供できていることに喜びを感じます。



柿橋ソフトボールチームのメンバー(前列中央が筆者)

回なので、いつの日か柿橋に優勝旗を持ち帰りたいと願っています。

これから地域ソフトボールチームとして地域に貢献し、未来を担う若者たちの成長を支えていきたいと思えます。なお、これまでの県大会は、準優勝が1回、3位が3